



創誠健和



旭川中学校 学校通信 1月号

備えよ!常に



令和6年1月31日発行

年末の学校通信では、2024年の干支「甲辰」は、「春の日差しが、あまねく成長を助く年」とされており、チャレンジするのに最適だと書かせていただき、「楽しみ」という言葉で締めくくりました。しかし、年が明けた1月1日、突然の緊急地震速報。石川県能登地方を震源とする地震では、多くの方が亡くなりました。心より哀悼の意を表します。また、年末・年始ということもあり、帰省や旅行をしていた方もいらしたかと思えます。被災された方をはじめ、年初から困難な状況に遭遇された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

さて、私事ですが、私は小学3年生の時にカブスカウトに入団し、その後、ボーイ、シニア、ローバースカウトと経験させていただきました。スカウトのモットーは、「備えよ!常に」であり、「何時でも、どんな場所でも、どのようなことが起こった場合でも対応が出来るよう、そして善処が出来るよう、常に準備を怠るな」という意味だと私は捉え教訓としてきました。

備えがあれば全てを防ぐことが出来るとは言えないでしょうが、備えがあれば被害を軽減することが出来るかもしれません。

1月2日には、羽田空港で航空機事故が起きました。JAL機の乗員・乗客全員が無事に脱出することができ、奇跡と称されましたが、これは機長をはじめとする搭乗員の日頃の備え、訓練が功を奏したとも言えるのではないのでしょうか。

今年は、アメリカなどで大統領選挙が行われ、その結果によっては、政局の変化も考えられ、私は注視が必要だと感じています。自然災害への備えだけでなく、なかなか平和にならない世界の動きに対しても備えをしておく必要がある年となりそうです。

心の準備はもとより、各ご家庭で、地域で、そして学校としても、先をしっかりと見通しながら、今、成すべきことを着実に遂行し、いざという時のために備えたいものです。

まずは、3年生の進路実現への着実な備え、2年生の最高学年に向けた着実な備え、1年生の後輩を笑顔で迎えるための着実な備えを進めて参ります。



制服の見直し

令和7年度から新制服の導入を予定し、準備を進めています。見直しの目的は大きく2点。1点目は、熱中症等への対応です。2点目は、子どもの人権に関わる性の多様性(LGBTQs)に向けての対応です。気温による服装での温度調節、ジェンダーレスを意識し、自由に制服の組み合わせが選択できるようになる予定です。

1月23日(火)には、業者選定のため、小・中学校の教職員に対する制服メーカーによるプレゼンテーションが実施されました。どの制服メーカーからも、開拓精神を受け継ぐ旭川中の伝統も意識しながら、新時代にフィットする最新の機能性やサポート体制について説明がありました。業者選定後は、児童・生徒・そして保護者の代表、学校運営協議会委員の方にも選考に加わっていただき、準備を進めて参ります。

Olympic year

オリンピックイヤー



今年オリンピックイヤーです。フランスのパリにおいてオリンピック・パラリンピックが開催されます。パリ五輪に向け、昨年、日本勢は、バスケットボールやバレーボールなどで、それぞれ男子チームが出場権を獲得。予選では、いずれも勝ちにこだわる姿勢を感じる事が出来ました。私自身も、少々、スポーツに関わりを持っておりませんが、オリンピック出場を決めたバレーやバスケットのチームジャパンに共通する点として、いずれも監督・コーチに外国人指導者を迎えており、加えて、海外のチームで活躍する日本人選手がチームジャパンに増えているということです。

外国人指導者を迎えているというのは、日本がこれまでのやり方から脱却して世界基準に近づき、新たな戦略や技術を学ぼうとしているにほかなりません。

これまでに当たり前としてきた従来の戦法に拘られることなく、新しい方法、やり方をどん欲に学び、実践すること。世界で闘うためには、変化を恐れずに新しいものを受入れなければ、この時代を、これからの時代では、戦えないといった切迫感があるのかもしれない。

その過程では、新たな目標に対する、これまでとは違うアプローチや戦略への抵抗感もあったことでは、各々の選手、そしてチームに「成長したい」「勝ちたい」という気持ちが強く、その抵抗感を打ち破ったのだと思います。ポイントは「学び」「受け入れる」ということだと感じます。自分たちには関係ないとか、自分たちのやり方とは違うからとか言って、聞く耳を持たないでいると、学びを得ることはできず、成長機会を放棄することになります。

多様性のある社会への変革が求められる今、次代を担う本校生徒には、多くの意見に耳を傾け、そこから取り入れるべきものを学ぼうとする態度が、その力が必要となります。オリンピックイヤーには、多くの競技で、時代の即したルールの変更が取り入れられます。2024年！これまでにない考え方にトライしたり、新しいことに挑戦したりしてみましょ。これまでと違うやり方や意見があったとしても、聴く耳をもち、好奇心をもって挑戦していく一年としてもらいたいと考えています。

部活動の地域移行推進計画

部活動は、異年齢との交流の中で体力や技能の向上を図ると同時に、自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、生徒の多様な学びの場、活躍の場として、教育的意義を有しています。

一方で、少子化等の進展により、従前の運営体制では維持が困難になってきており、学校や地域によっては、存続の危機にあるのも事実です。

そのような中、国や道においては、令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域移行することとしており、旭川市においても市内の中学校の部活動について、学識経験者やスポーツ団体関係者等の意見を聴くなどして、地域移行への対応を検討しているところです。本校としても、今後の旭川市の動向を踏まえ、生徒に寄り添いながら地域移行等の検討を進めて参ります。

旭川中イメージ

【R5年度：準備期】

【R6年度：推進期】

【令和7年度：完了期】

- ・部活動数の削減
- ・部活動指導員等の確保
- ・旭川小少年団と連携 ほか

- ・部活動数の適正化検討
- ・部活動指導員等の確保
- ・旭川小少年団と連携
- ・合同チーム化検討 ほか

- ・部活動数の適正化
- ・部活動指導員の確保
- ・旭川小少年団と協働
- ・クラブチーム化の検討 ほか

厚生労働省によりますとコロナウイルス感染症に関わり、新規感染者数が9週連続で増え、流行の「第10波」との報道があります。感染力が高い新たな変異株も広がり、専門家からは「油断せずに感染対策を続けて」との声も上がっているところです。コロナは5類に移行されましたが、入試が控えていること、新年度に向けた大切な時期であることなどから、コロナ禍が気づかせてくれた新しい生活様式、これまで気づかなかった新しい価値観も大切にしながら、今年度の卒業証書授与式は以下の通りの対応としますので、ご理解とご協力をお願いします。

卒業式の対応

3月13日(水) 全校生徒による「別れの集い」

3月14日(木) 第3学年単独での「同窓会入会式」

3月15日(金) 第3学年及びその保護者等による「卒業証書授与式」(1・2年生は自宅学習)

